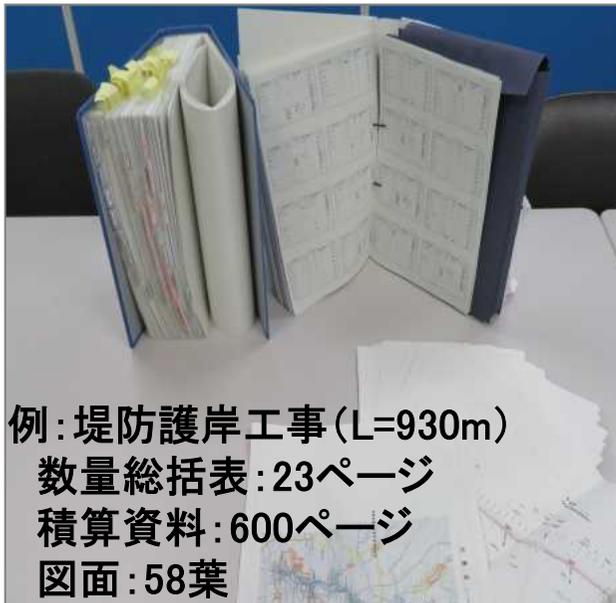


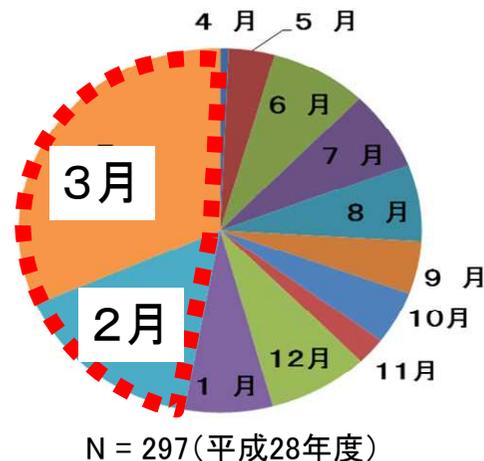
No.16 入札関係の数量計上資料、積算資料の要確認箇所を自動検出できるようにしたい。

ニーズの概要

- 発注者は業務・工事発注にあたり、実施内容に応じた数量計上、積算作業を実施し、膨大な書類作成・確認作業を行っている。
- 各受注希望者も入札にあたり、公示された業務・工事内容、数量を基に、積算作業を実施している。
- 年度末の特定の時期に、受発注者双方が、短期間で膨大な資料作成・確認作業を実施しており、**正確性・効率性の高いチェック・確認方法**が求められている。
- 担い手不足から、直感的に業務・工事規模に応じた計上・積算ミスを見抜ける経験豊かな人材を、時間をかけて育成していくことは難しいと推測される。



月別開札件数割合(変更含)
→ 2月、3月に**47.1%**が集中



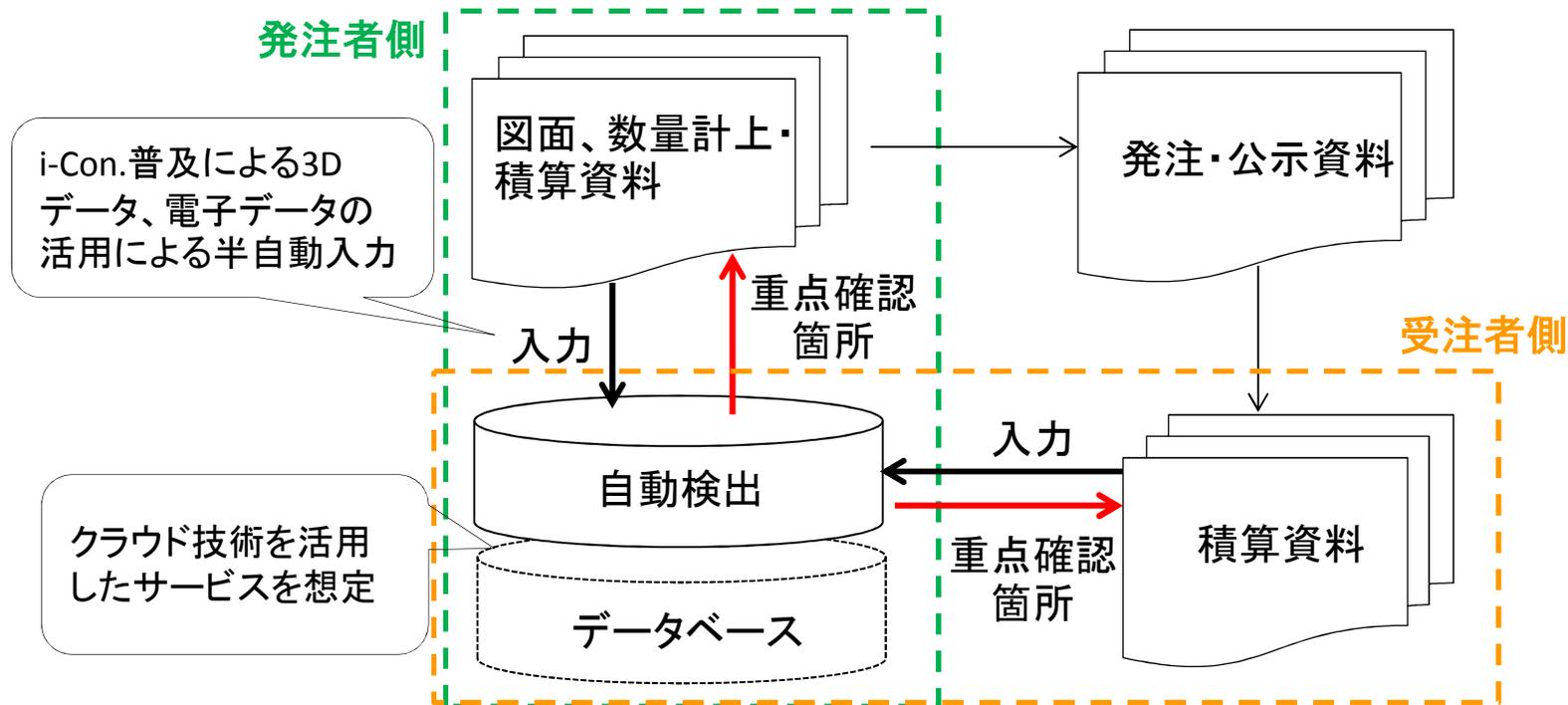
資料チェックに多大な労力



No.16 入札関係の数量計上資料、積算資料の要確認箇所を自動検出できるようにしたい。

期待するシーズ

- 大量のデータベースを基に、機械学習、深層学習等の技術により、画像の中から特定の事象(「犬」「女性」「歩行者」等)を検出する技術は確立されつつある。
- 過去の膨大な既発注業務・工事の発注手続き資料・積算結果のデータベースを基に、機械学習・深層学習技術等を用いて、数量計上や積算のミスの可能性が高い箇所を自動的に検出することを可能とし、受発注者双方の生産性を向上させられないか？



受発注者双方の人員が減少する中、計上・積算結果の確認方法の効率化は不可欠！